

新年ご挨拶

相談役会長 戸沼 平八



皆様には健やかに新しい年を迎えられたことと存じます。

昭和39年の青函トンネル工事着工から52年の歳月を経て、昨年3月23日、遂に新幹線が北海道にやってきました。函館・道南を訪れる国内外の観光客は大幅に増え、ホテルや旅館、バス・タクシー、そして、飲食業等の観光関連産業は好調です。

昨年9月、函館市主催のグルメサーカスが開催され、2日間で30万人が参加したと報道されました。道南各市町村の出店が数多く参加し、東北六県からは、青森のねぶた祭り、岩手盛岡のさんさ祭り、秋田の竿燈祭り、山形の花笠祭り、宮城仙台の雀祭り、福島のわらじ祭りが披露され、それはそれは壮観でした。また、新設された函館アリーナのプラス効果もありました。各業界や団体の全国・全道の大会や研修会が頻繁に開催されました。新幹線の北海道乗り入れは、函館・道南地域だけではなく、北海道全体に大きな経済効果があったようです。宮城県で仕事をしている当社にとって、仙台市や東北営業所のある名取市は日帰り圏内になりました。東北や北関東とのヒトやモノ、そして、シゴトの交流が盛んになることが期待される新時代の幕開けです。

不安な予感の幕開けもあります。イギリスのEU離脱とアメリカのトランプ大統領の誕生には驚きました。不平や不満を煽って独り善がりな政策を推し進めるポピュリズム（大衆迎合主義）が台頭し、排外的なナショナリズムと安易に重なり合っています。「個」の存在と違いを認め合う、多様性を認め合うという寛容さが失われています。個性豊かな中小企業の存在が否定されているような気がします。

当社の経営理念は「哲学と文化とスポーツをすることによって人間力を培い、安全で良い仕事をするによって社会に貢献する」です。統合マネジメントシステムや就業規則の土台は経営理念です。日々の基本は、整理・整頓・清潔・清掃・躰（しつけ）の5Sです。当社は、若い社員や新しい社員が入社し、意欲に燃え、活力に満ちた人間集団になってきたように思います。会社が継続して発展し続けるためには、第一に理念がしっかりしていること、次に人材が豊かであること、そして、評判が良いことです。そのためには、労使共に学び続けなければなりません。

今年も皆さん一人ひとりが、それぞれの持ち場でやり甲斐と生きがいを感じられるような仕事ぶりを期待しています。最後に、再度、確認しましょう。「安全で良い仕事」を！本年もよろしく願いいたします。



安全と衛生



戸沼岩崎建設株式会社 発行

平成29年2月10日

向春号

<http://www.tonuma.com/>

第220号



冬の安全運転

交差点⇒停車時の車のエンジンによる熱や発進時のスリップなどで路面の雪や氷が溶けたり凍ったりを繰り返し、交差点はツルツルに磨かれたアイスバーン状態になっています。交差点での右左折、バス停でのバス追い越し、左折車回避などは、わだちやセンターラインに溜まった雪があるため危険です。急な車線変更や、無理な追い越しは避けましょう。

カーブ⇒カーブの走行では、車の自重によって外に向かおうとする力が働きます。カーブ手前の直進時に減速しましょう。また、コーナーリング中のブレーキやアクセル操作はクルマが不安定になります。曲がりながらの急な加速や減速はできるだけ避けましょう。



坂道⇒路面の滑りやすい雪道では、下りの坂道が要注意。ABSは「ブレーキを踏んでからの制動距離を短くする装置」と思いがちですが「衝突しそうな状況での急ブレーキ時にタイヤをロックさせず、緊急回避のハンドル操作を行うためのもの」です。特に、SUVやワンボックスのような重い車は、制動距離が長くなるので注意して下さい。

風邪の症状を緩和する食べ物・食材

微熱があり寒気がして汗がでない時は、生姜やネギといった食品が効果的です。発汗を促して、血行を良くして身体を温めてくれます。風邪のひき始めには、ビタミンCが含まれている柑橘類が効果を発揮します。柑橘類はビタミンCが豊富で、生のままでも食べられるので栄養の損失も少なく水分補給にも最適です。また、発熱時は体が消耗しやすいので、栄養を補う作用のあるものや解熱に役立つ作用のあるものを摂取するようにしましょう。梅干は昔から咳止めや解熱に使用されています。梅干の種をとって練り、熱湯か薄い番茶を注ぎ、必要に応じて蜂蜜で甘味をつけると飲みやすく身体が温まり熱を下げます。



冬季 転倒災害防止

〈屋外での転倒災害防止対策〉

- ・事業場敷地内、駐車場、出入口、通勤経路等の滑り易い場所を確認し「危険マップ」を作成する等により周知すること。
- ・靴は保温性が高く、かつ、滑りにくいものを使用すること。
- ・小さな歩幅で靴の裏全体をつけ「急がずゆっくり」歩くこと。
- ・通路等は凍結防止対策（融雪剤、砂の散布等）を講ずること。
- ・屋外や屋外に通ずる階段には、すべり止めを設けること。
- ・服やズボンのポケットに手を入れたまま歩行しないこと。また、両手に物を持って歩行しないこと。

〈屋内での転倒災害防止対策〉

- ・出入口などの滑りやすい場所は滑り止めの措置をとる。
- ・段差をできるだけなくすか、段差のある場所には「足元注意」の表示をする。
- ・床の油汚れや洗剤の残り等は取り除く。
- ・滑りにくい履物を履き、靴のかかとを踏まない。
- ・走ったり、ポケットに手を入れたまま歩かない。
- ・決められた通路を通る。
- ・出入り口や曲がり角では歩行速度をゆるめ、対向する人の有無を確認する。
- ・歩くときは前後と左右の確認だけではなく、滑ったりつまずいたりしないように、いつも足元の確認を怠らないようにする。
- ・通路などの床面が水などで濡れているのを見つけたらすぐ拭く、濡れたままにしておかない。

NETIS登録 転石固定工法



当社が開発し特許を取得した転石固定工法が、国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS)に登録されました。転石固定工法は斜面における転石の滑落を抑える工法で、樹木を伐採することなく施工できるので環境保全や景観性に優れています。また、構造体が柔軟なため地山の追随性が高く、損傷を受けにくい

特長があります。さらに、小型機械による施工が可能で、高所の法面や法切りが難しい道路沿いの法面に適しています。既存の地形のまま施工でき、従来技術と比べ工期的に約10%、コストも約17%程度抑えることができます。お問い合わせは、当社の梅木優邦までお願いいたします。